

山陰海岸ジオパーク・鳥取砂丘ジオサイトにおける地学野外調査を科学教育へ繋げる試み

A scientific education program conducted by linking with the geophysical field works at Tottori Sand dunes, San'in Kaigan

塩崎 一郎^{1*}

SHIOZAKI, Ichiro^{1*}

¹ 鳥取大学大学院工学研究科

¹ Graduate School of Engineering, Tottori University

筆者の勤務する大学の学生は、概ね「地球科学」が扱う現象に興味があるとようだ。これは、教養科目的な位置づけで開設されている講義科目・地球科学が、毎年、人気科目の仲間入りをしていることで確認できる。しかし、本学の地学受講者の殆ど全ては高校で地学に関する学習機会がなかったと言う（高校で地学を履修した生徒は数パーセントに過ぎない）。つまり、身近な地学現象について興味を持ったとしても、その好奇心を育むための教育システムが現在の日本ではうまく機能していないように感じている。

そこで、筆者は、地学野外調査を科学教育へ繋げる活動場所として山陰海岸ジオパークのジオサイトのひとつである「鳥取砂丘」を取り上げ、砂丘に関連する組織と連携して様々な地球科学的な学習活動を開始した。ここでは、まずは、自然の美しさに触れ、感動し、純粋に楽しくなれること、加えてその仕組みを理解することを通して豊かな気持ちになれること、そして、何よりも自然をより深く知るためには何らかの物理的・精神的な活動をする必要があること、を目的とした活動を実施している。本講演では山陰海岸ジオパーク・鳥取砂丘ジオサイトにおいて行われた地球物理学的野外調査がもたらした観測事実を紹介し、そして、それを科学教育へ繋げる取り組みの現状を報告する。

本報告の中で使用するデータは平成 21 年度から 23 年度に実施された鳥取県環境学術研究振興事業「鳥取砂丘の地下構造と地下水大循環に関する研究 - 砂丘内湧水 (オアシス) の起源を探る - 」により取得されたものであることを記す。

キーワード: 山陰海岸ジオパーク, 鳥取砂丘, 野外調査, 地球科学教育

Keywords: San'in Kaigan Geopark, Tottori Sand Dunes, field works, Earth Science education